

おたふくかぜ

- ・ おたふくかぜは、耳の下にある耳下腺という部分のはれる病気で、ムンプスウィルス感染によるものです。ウィルスが感染してから2～3週間の潜伏期を経て、発病します。ただし不顕性感染といって症状が出ずに終わってしまうこともあります。
- ・ 耳下腺は両方だけでなく、片方だけはれることもあります。また下あごの顎下腺という部分が腫れることもあります。
- ・ 耳下腺のはれと痛みはだいたい1週間ぐらいで治まります。ウィルスによる病気ですので、特別な治療はありません。
- ・ おたふくかぜには、3%ぐらいに髄膜炎の合併症がみられることがあります。発熱、頭痛、繰り返す嘔吐があれば髄膜炎が疑われますので、医療機関を受診してください。

以前おたふくかぜをすませたのに、再び耳下腺がはれた、という場合にはムンプスウィルスではなく別のウィルスや細菌の感染が原因かもしれせん。